

平成22年 8月 5日

平成22年 4月卵稚仔調査結果速報

鹿児島県水産技術開発センター

独立行政法人 水産総合研究センターの委託事業である資源評価調査事業において下記のとおり卵稚仔調査を行ったので、結果をお知らせします。

1 調査日

平成22年4月5～9日

2 調査船

くろしお（260トン）

3 調査方法

図の25定点において改良型ノルパックネットにより卵・稚仔魚等を採集し、分布域、数量等を調査した。数量比較は、県西部および薩南・県東部海域における1定点あたりの平均採集等を過去の数値、5ヶ年の平均値と比較した。

4 調査結果

【カタクチイワシ】

県西部海域

・卵の分布状況

主に甕島と宇治群島東で1定点あたり3～73個採集され、1定点あたりの平均採集数は14.4個と昨年は上回ったが、過去5カ年の平均（135.6個）は大きく下回った。

・稚仔魚の分布状況

主に甕島周辺で1定点あたり5～9尾採集され、1定点あたりの平均採集数は3.5尾と昨年は上回ったが、過去5カ年の平均（66.3尾）は大きく下回った。

薩南・県東部海域

・卵の分布状況

昨年は採集されなかったが、本年は主に枕崎沖と三島周辺で1定点あたり32～74個採集されたが、1定点あたりの平均採集数は13.8個と過去5カ年の平均（161.7個）は下回った。

・稚仔魚の分布状況

昨年は採集されなかったが、本年は主に種子島周辺で1定点あたり13～43尾採集され、1定点あたりの平均採集数11.3尾と過去5カ年の平均（43.2尾）は下回った。

【その他のイワシ類】

マイワシは卵、稚仔魚ともに採集がなかった。

ウルメイワシは、昨年は卵、稚仔魚ともに採集が無かったが本年は採集された。県西部海域では卵は主に宇治群島西沖で採集され、1定点あたりの平均採集数は3.4個と5カ年の平均（0.5個）は上回った。稚仔魚は、高い密度の分布はなく、1定点あたりの平均採集数は0.8尾と5カ年の平均（0.2個）は上回った。薩南・県東部海域では卵は、高い密度の分布はなく、1定点あたりの平均採集数は0.2個と5カ年の平均（0.4個）は下回った。稚仔魚は、高い密度の分布はなく、1定点あたりの平均採集数は0.3尾と5カ年の平均（0.1個）は上回った。

